

# “認知症予防を考える”



我が国では、認知症患者数は2020年には425万人まで増加したと言われています。現在、認知症の最大の要因といわれているアルツハイマー病が激増しており、そのための積極的な予防技術開発とこれらに対する新規の事業展開が期待されています。

なお、本講演は公益財団法人京都産業21 令和2年度「企業の森・産学の森」推進事業の補助金を活用して実施します。

日時：2020年12月10日(木) 13:30～16:30

場所：同志社大学今出川校舎 良心館 204号室(RY204) (裏面地図参照)

## <プログラム>

① 石浦章一(同志社大学生命医科学部特別客員教授) 13:35～14:25

基調講演「アミロイドβを標的としたワクチン米によるアルツハイマー病の予防」

② 市川寛(同志社大学生命医科学部教授) 14:25～14:55

「機能性食品、抗酸化食品等による疾病予防、老化予防の最新研究」

◆休憩◆ 14:55～15:05

③ 田部井豊(国立研究開発法人 農研機構企画戦略本部新技術対策室室長)

「遺伝子組換え食品の安全性評価と実用化への課題」 15:05～15:35

④ 古谷規行(京都府農林水産技術センター生物資源研究センター所長)

「京都府生物資源研究センターにおけるバイテク研究の変遷」 15:35～16:05  
—最近の研究紹介:機能性成分に着目した品種育成—

⑤ 質疑応答、閉会の挨拶 16:05～16:30

参加費：無料 12月6日(日)締切 定員 70名

お申込み・お問い合わせ等 講演会事務局：綾木 光弘

[takeiteasy1952@yahoo.co.jp](mailto:takeiteasy1952@yahoo.co.jp)

\*NPO 法人地域産業支援プラザ ・綾木企画技術士事務所共催

\*後援：同志社大学

